

株式会社東芝 浜川崎工場 サイトレポート情報

所在地 : 神奈川県川崎市川崎区浮島町2番1号

敷地面積 : 225,000m<sup>2</sup>、建家面積 : 117,000m<sup>2</sup>、緑化率 11.0%

設立 : 1962年6月、従業員 : 925人 (2011年3月現在)

主要製品 : 変圧器、開閉装置、避雷器

ISO14001 認証取得 : 1997年1月、最新更新年月 : 2010年11月  
(ISO 認証番号 : EC99J2004)

工場 全景写真



ごあいさつ

私たち浜川崎工場は、東京湾に面した川崎市臨海部で変圧器、開閉装置、避雷器等の各種送変電機器の開発・製造を行なっています。また、事業プロセスにおいても地球温暖化防止、化学物質の排出量削減、資源の有効利用を積極的に進め、当工場の関連会社である海外現地法人の手本となれるよう環境活動を推進してまいります。

\*\*株式会社東芝 浜川崎工場環境スローガン\*\*  
『(浜)から生み出す環境社会 世界に広げるエコプロダクツ』



環境保全責任者 戸田克敏

2010年度の環境の主な取組み

☆ISO14001環境マネジメントシステム

1997年1月に(浜)として認証を取得し、2007年1月に[電産社]として統合取得。2010年11月にサーベランス審査に合格しました。

☆環境保全体制の充実

法令、条例を順守し、現場管理の強化を図ります。

☆化学物質排出量の削減

揮発性有機化合物を活性炭吸着により除去する設備を導入し、化学物質の排出量の削減を図りました。

☆CO<sub>2</sub>排出量の削減

高効率変圧器の導入やボイラーの分散化によりCO<sub>2</sub>の排出量を削減しました。

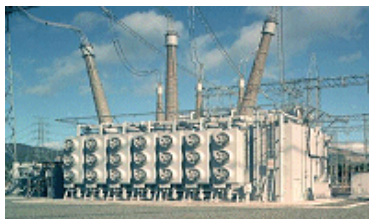
☆環境調和型製品の提供

新型245kV GIS、P-GCB (碍子形ガス遮断器) を環境調和型製品に認定しました。

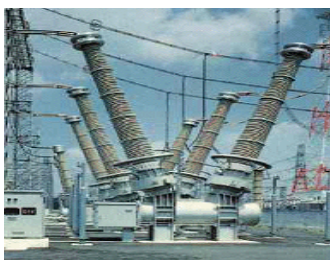
☆地域との協調

通勤経路の清掃ボランティア活動の実施をしました。工場見学の受け入れを実施しました。

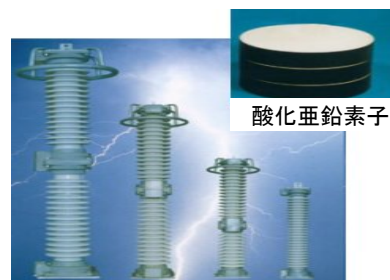
製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介



電力用変圧器



開閉装置



屋外変電機器を保護する碍子型避雷器

環境コミュニケーションの紹介

- ・環境報告書の発行 : 2006年度より毎年発行
- ・地域との交流 (参加) : 川崎市エコドライブ宣言への参加  
(主催) : 通勤道路の清掃 (年2回実施)  
; 環境ニュースの (隔月発行)  
; 工場見学の受け入れ



通勤経路の清掃



環境報告書2010



環境ニュース

## 東芝浜川崎工場 環境指針

浜川崎工場は、送変電機器及び電気、ガス、水道分野の計量器を開発・製造する拠点として、世界中に環境調和型製品を提供すると共に、最先端エネルギー技術の研究開発を通じて顧客と社会に貢献します。

また、浜川崎工場は東京湾に面した川崎市臨海部に立地しており水質汚濁の防止など周辺の自然環境の保全に努めます。

そして、(株)東芝 社会インフラシステム社の環境経営基本方針に基き、次の環境活動を推進します。

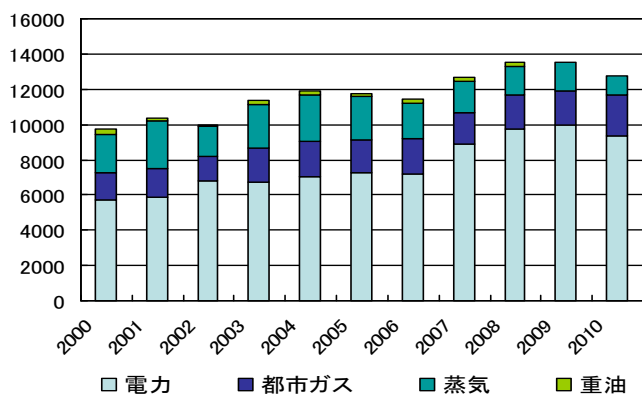
1. 環境への取り組みを経営の最重要課題の一つとして位置付け、経済と調和させた環境活動を推進します。
  - (1) 環境マネジメントシステムの継続的な改善・向上
  - (2) 事業活動、製品、サービスや生物多様性に関わる環境側面の環境影響を評価し、目的、目標を設定して環境改善、汚染の防止に取り組む
  - (3) 環境側面に関する法令及び同意したその他の要求事項を守り、自主基準値を遵守する
  - (4) 環境活動に全員で取り組む
2. 研究開発、設計の段階で次の環境調和型新技術の開発や製品づくりを推進します。
  - (1) エネルギー損失の低減、消費電力の低減等によるCO<sub>2</sub>排出量削減
  - (2) 小型・軽量化等による資源投入量(絶縁油、SF<sub>6</sub>を含む)の削減
  - (3) モジュール化や解体性向上等による再使用・再利用・回収・リサイクル性の容易化
  - (4) 特定化学物質の削減、代替化
  - (5) 温室効果ガス(SF<sub>6</sub>)の代替化製品の開発による使用量削減
3. 事業プロセスにおいて、次の環境配慮活動に取り組めます。
  - (1) 水質汚濁の防止
  - (2) 生産設備・動力設備・通勤バス等に使用する電気・燃料等の削減、製品試験に使用するSF<sub>6</sub>ガスの排出削減、生産物流の効率化等によるCO<sub>2</sub>の排出削減などにより、温室効果ガスの排出を抑制
  - (3) 化学物質の適正管理と特定化学物質の削減・代替化の推進
  - (4) 売却資源くずを含めた不要物の発生抑制、再使用、再資源化の推進
  - (5) 環境に配慮した会社との取引を広め、環境配慮部品・材料の調達を推進(グリーン調達  
の推進)
4. 地域・社会、従業員家族、取引先と協調・連携し、環境活動を通して社会に貢献します。
  - (1) 取引先への指導・支援の実施
  - (2) 相互理解促進のため、積極的な情報開示とコミュニケーションの実施
  - (3) 川崎市及び国等による環境活動への参画・協力

株式会社 東芝  
浜川崎工場長

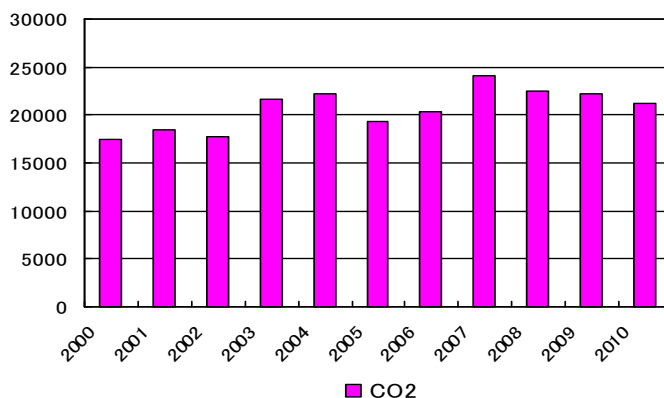
2011年5月26日

環境負荷データ

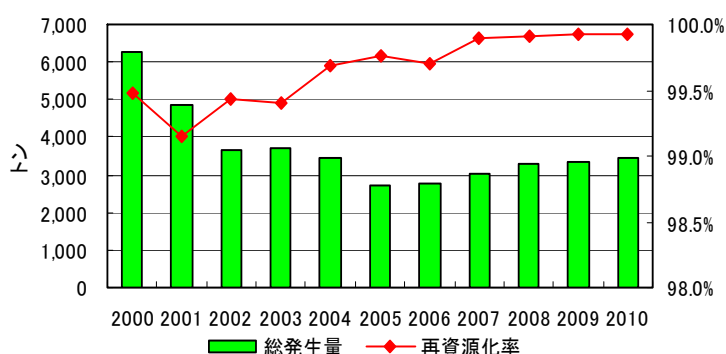
エネルギー使用量(単位:KL)



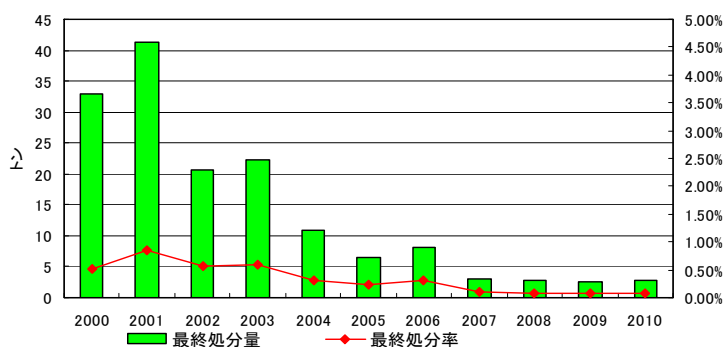
CO<sub>2</sub>排出量(単位:トン-CO<sub>2</sub>)



廃棄物総発生量と再資源化率(単位:トン、%)

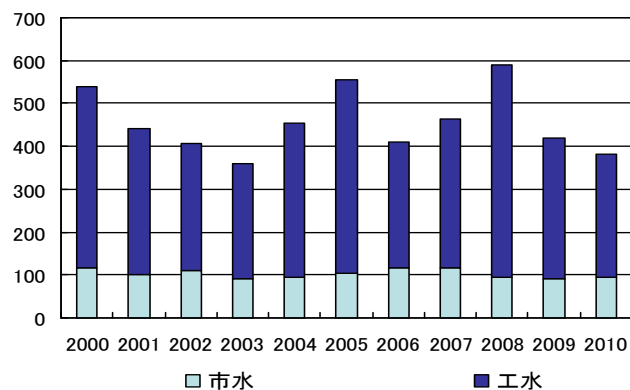


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:トン、%)

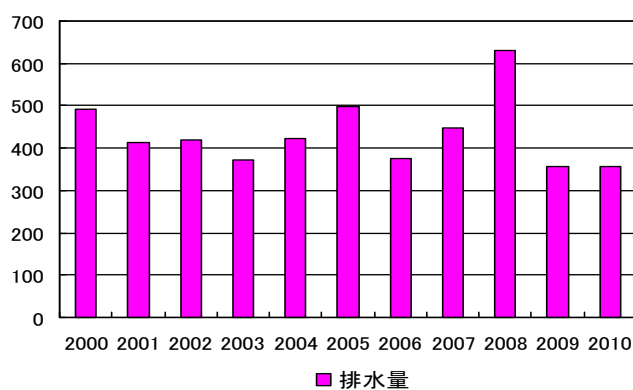


主な廃物名: 酸、汚泥、金属、ガラス、プラスチック、油等

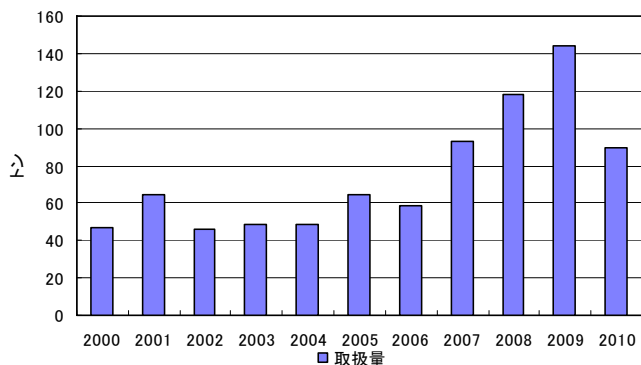
水の使用量(単位:千m<sup>3</sup>)



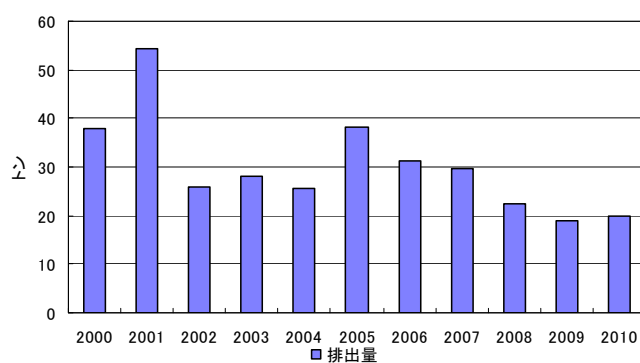
排水量(単位:千m<sup>3</sup>)



化学物質削減対象物質の取扱量(トン)



化学物質削減対象物質の排出量(トン)



主な化学物質: アンチモン化合物、トルエン、キシレン、アセトン、無水フタル酸

**遵法管理状況**

<大気測定結果> 多管式小型貫流ボイラー(都市ガス使用) 2台

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	150	60	19~23	年2回
SOx(Nm3/h)	対象外	対象外	対象外	対象外
ばいじん(mg/Nm3)	0.05	0.01	0.001~0.0053	年2回

<排水測定結果> 最終放流口、海域(東京湾)へ放流

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.8~8.6(川崎市条例)	6.0~8.3	6.88~7.76	月1回
BOD(mg/ℓ)	60(川崎市条例)	20	2~7	月1回
COD(mg/ℓ)	60(川崎市条例)	20	3~16	月2回
SS(mg/ℓ)	90(川崎市条例)	15	2~6	月1回
窒素(mg/ℓ)	50(川崎市条例)	30	4~15	月2回
リン(mg/ℓ)	8(川崎市条例)	2	0.28~0.99	月2回

<騒音・振動測定結果> 特定施設の新規設置が無いので2010年度は未実施

	測定場所:時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	75	74	—	都度
	敷地境界:夜	65	64	—	都度
振動(dB)	敷地境界:昼	70	69	—	都度
	敷地境界:夜	65	64	—	都度

<その他測定結果> (主な測定結果)めっき排水処理施設、規制値は最終放流口に係る規制値

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.8~8.6(川崎市条例)	6.5~8.0	6.82~7.57	年4回
ふっ素化合物(mg/ℓ)	15(川崎市条例)	5	0.6~1.2	年4回
ほう素(mg/ℓ)	230(川崎市条例)	23	0.1~1.5	年4回

<環境事故・指導指摘・苦情の有無>

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし